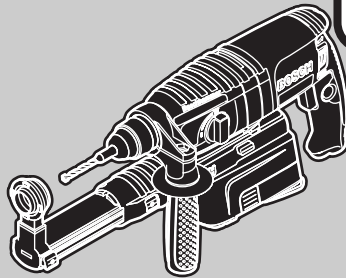
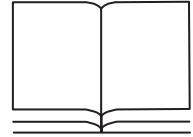


取扱説明書

i



吸じん
ハンマードリル
GBH 2-23 REA 型



アース不要
の二重絶縁

このたびは、弊社吸じんハンマードリルをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになったら後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。



BOSCH

目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
電動工具全般についての注意事項	2
ハンマードリルについての注意事項	7
●本製品について	
用途	10
各部の名称	10
仕様	12
標準付属品	13
●使い方	
作業前の準備をする	14
作業する	21
粉じんを取り除く	26
吸じんシステム（別売）と接続する	28
付属品を交換する	29
●困ったときは	
故障かな？と思ったら	30
修理を依頼するときは	31
●作業前点検・お手入れ・保管	
作業前点検	32
使用後のお手入れ	32
保管	33
●付録	
別売アクセサリ	34

ご安全上の注意

本製品の

使い方

困ったときは

保お手入れ点検管


付

録

安全上の注意

- ◆ 火災、感電、けがなど事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。




警告

- ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

- ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具全般についての注意事項

ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいた吸じんハンマードリルには、当てはまらない項目も含まれています。

警告

ご安全
上の
意の

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ◆ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



3. 感電に注意してください。

- ◆ 電動工具を使用中、アースされているものに身体を接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

4. 子供を近づけないでください。

- ◆ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は錠のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

- ◆ 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



9. 保護めがねを使用してください。

- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉塵の多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11. 集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ◆ 電動工具に集塵機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



13. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ◆ 使用しない、又は修理する場合。
- ◆ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- ◆ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ◆ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか、十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。

取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターへ修理を依頼してください。

- ◆ スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。



22. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、及びボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターにお申しつけください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ハンマードリルについての注意事項

電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、ハンマードリルをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

ご安全上の注意の



警告

1. 必ず銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。
 - ◆ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 作業する箇所に、電線管や水道管、ガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたときに感電したり、漏電やガス漏れが発生したりして、事故の原因になります。
3. 使用中に振り回されないよう、ハンマードリル本体にしっかりとサイドハンドルを取り付け、本体を確実に保持し作業してください。
 - ◆ 確実に保持しないと、けがの原因になります。
4. 使用中は、先端工具や回転部、切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。
 - ◆ けがの原因になります。
5. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。
特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
 - ◆ 発煙・発火の原因になります。
6. 使用中にハンマードリルの調子が悪くなったり、異常音が生じたときは、直ちに「電子無段変速スイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはポッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
 - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

7. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、先端工具やハンマードリル本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

8. 石綿は、人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。



注意

1. 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

◆ 確実でないと外れたりし、けがの原因になります。

2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。

◆ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

3. 作業直後の先端工具や切り粉などは高温になっていますので、触れないでください。

◆ やけどの原因になります。

4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。

◆ 材料やハンマードリル本体などを落としたとき、事故の原因になります。

5. 細径のビットは折れやすいので注意してください。

◆ 飛散して、けがの原因になります。

6. 本体を作動させたまま、台や床などに放置しないでください。

◆ 事故の原因になります。

7. コンクリートに穴をあけるときは、保護めがねを着用してください。

- ◆ コンクリートに穴あけを開始するとき、コンクリートの小片が飛び散ることがあり、けがの原因になります。
- ◆ コンクリートに細径の穴をあける際、急に切り粉が勢いよく噴き出すことがあり、けがの原因になります。

8. 安全のため、ヘルメットおよび安全靴、騒音からの保護のため、耳栓をしてください。

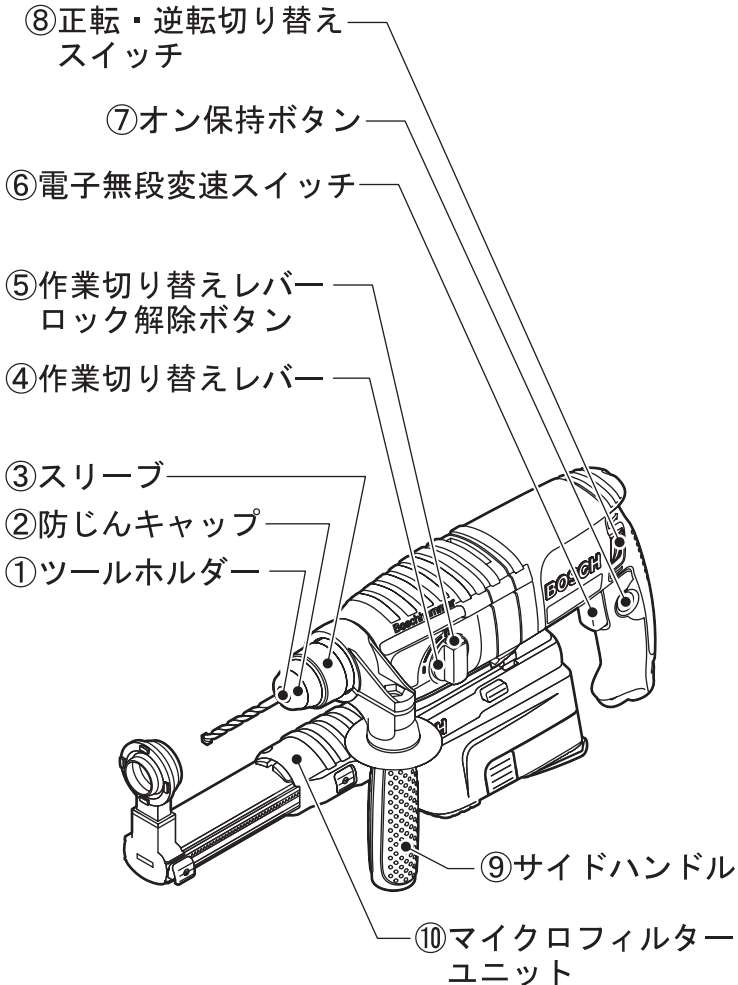
本製品について

用途

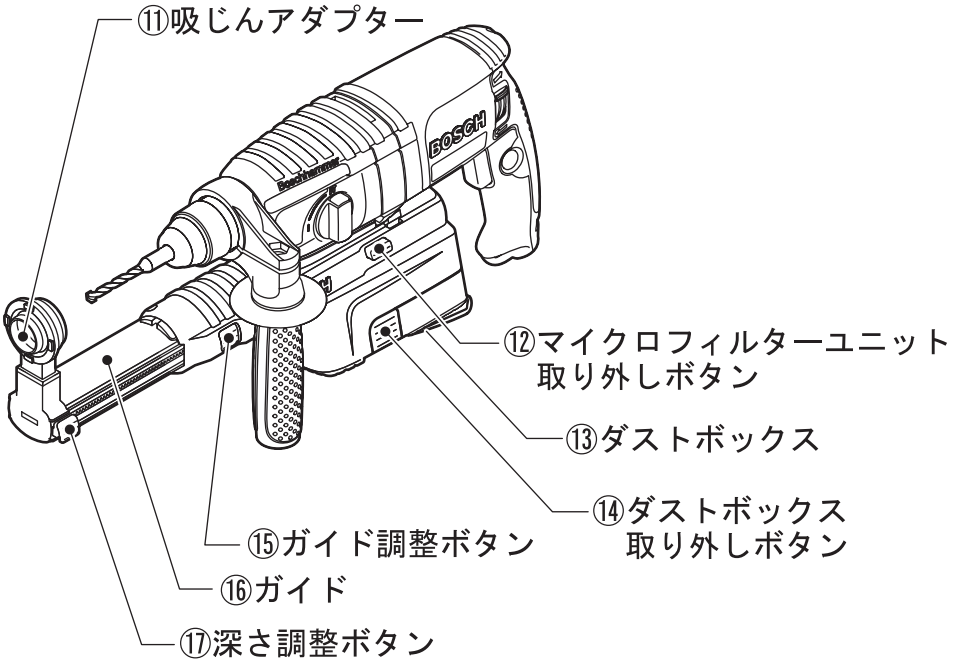
- ◆ コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ
- ◆ 木材、金属、プラスチックなどの穴あけ
- ◆ ネジの締め・緩め

本製品について

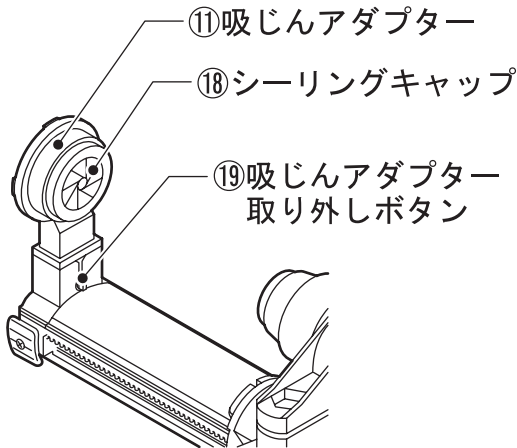
各部の名称



マイクロフィルターユニット



本
製
品
に
つ
て



◆このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

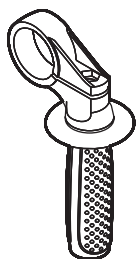
型 番	GBH 2-23 REA
定格電圧	単相 AC100V 50～60Hz
消費電力	710 W
回転数（無負荷時）	0～1000 min ⁻¹ （回転／分）
打撃数（無負荷時）	0～4400 min ⁻¹ （回転／分）
穴あけ能力（最大径）	
コンクリート	
SDS プラスビット使用時	23 mm （マイクロフィルターユニット装着時 16 mm）
ダイヤモンドコア使用時	65 mm ※1
鉄 工	13 mm ※1 ※2
木 工	30 mm ※1 ※2
正転・逆転機能	有
吸じん能力	450 l/分
質 量	3.1 kg（マイクロフィルターユニット含む） 2.4 kg（マイクロフィルターユニットなし）

※1 マイクロフィルターユニットは、ご使用になれません。

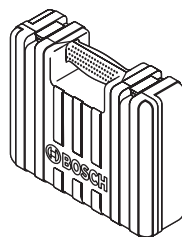
マイクロフィルターユニットを取り付けずに使用したときの能力になります。

※2 13mm 回転チャックセット（別売）または 13mm ハンマーチャック（別売）を取り付けて使用したときの能力になります。

標準付属品

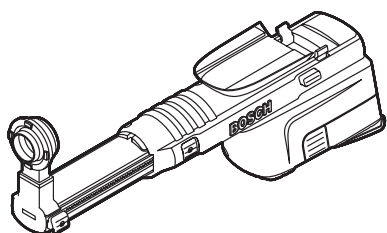


サイドハンドル

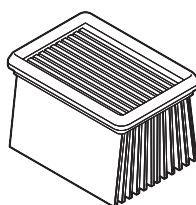


キャリングケース

つ本
製
い
品
てに



マイクロフィルターユニット



交換用フィルター

※マイクロフィルターユニットに装着済み



シーリングキャップ (6 個)

※ 1 個はマイクロフィルターユニットに
装着済み

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

作業前の準備をする



警告

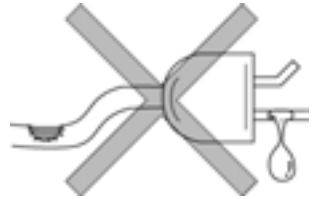
- ◆ 作業前の準備をするときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。



使
い
方

● 使用電源を点検する

- 単相 AC100V (50/60Hz) か？
- 電源コンセント不良（ガタ）のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していないか？



● サイドハンドルを取り付ける・取り外す



警告

- ◆ けがの発生を防ぐため、サイドハンドルを取り付けたり取り外したりするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

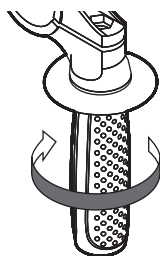


注意

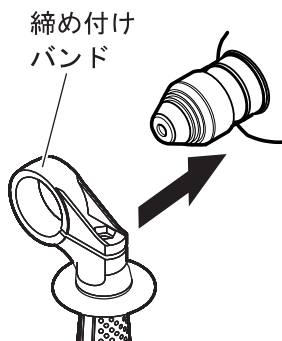
- ◆ 取り付けるときは、スリーブに触れないよう、しっかりと奥まで差し込んでください。スリーブに接触した状態で固定すると、スリーブが損傷します。

取り付け

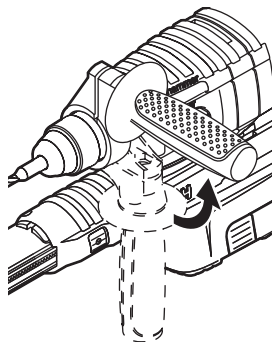
1. グリップ部分を回してサイドハンドル⑨の締め付けバンドを緩めます。



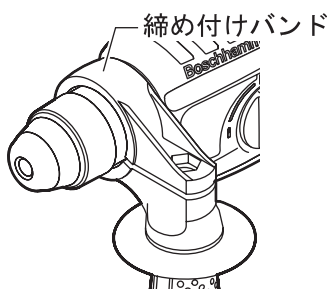
2. 本体に差し込みます。



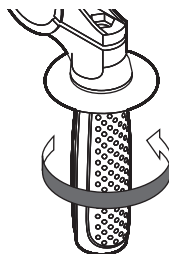
3. サイドハンドル⑨を回して、作業に適した位置にあわせます。




4. 締め付けバンドが、奥まではまっていることを確認します。



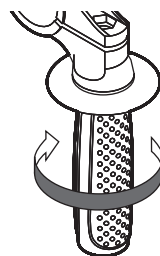
5. グリップ部分を回して、締め付けバンドをしっかりと締めます。
締め付け後、ガタつきがないか確認してください。ガタつきがある場合は、取り付け直してください。



-  作業に適した位置にサイドハンドル⑨を固定すると、作業中に安定した姿勢が取れ、疲労を減らすことができます。

取り外し


1. グリップ部分を回して締め付けベルトを緩めます。
2. 本体から抜き取ります。



● 先端工具を選ぶ

SDSプラスシャンクの先端工具


SDSプラスビット



コンクリートなどの穴あけ

ストレートシャンクの先端工具


振動ドリルビット




コンクリートなどの穴あけ

ドリルビット

鉄工用



木工用



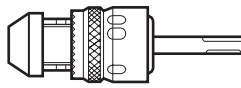
木材、金属などの穴あけ

ドライバービット



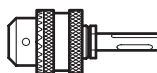
ネジの締め・緩め

別売

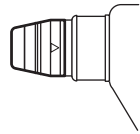


SDS13mmハンマーチャック

別売



SDS回転チャックセット



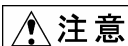
使
い
方

● SDS プラスシャンクの先端工具（または別売アクセサリ）を取り付ける・取り外す



警告

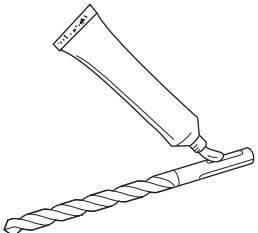
- ◆ けがの発生を防ぐため、先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

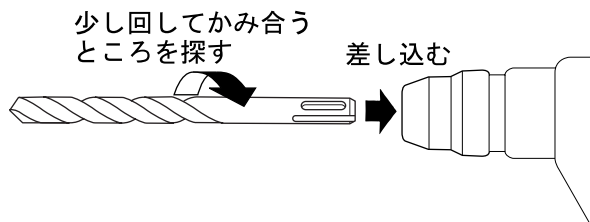


注意

- ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。冷たくなってから、先端工具を取り外してください。
- ◆ 先端工具は、刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。
- ◆ 本体の故障を防ぐために、防じんキャップに異常がないか確認してください。損傷がある場合は交換が必要です。修理を依頼してください。（「修理を依頼するときは」参照）

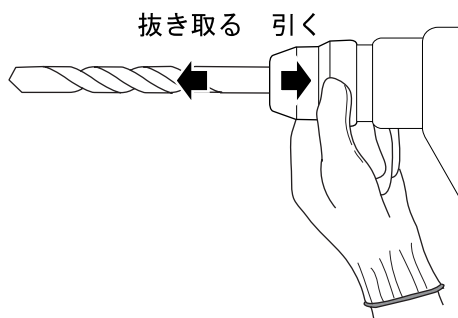
取り付け

1. 先端工具の挿入部分を清掃し、グリスを塗ります。
2. 先端工具を取り付け孔に差し込み、少し回してかみ合うところを探します。
3. かみ合ったところで、さらに深く差し込み固定します。
4. 確実に取り付けられたかどうか、先端工具を引いて抜けないことで確認します。



取り外し

スリーブ③を後方へ引きながら、先端工具を抜き取ります。

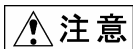


● ストレートシャンクの先端工具を取り付ける・取り外す



警告

- ◆ けがの発生を防ぐため、先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



注意

- ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。冷たくなってから、先端工具を取り外してください。
- ◆ 先端工具は、刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。

別売アクセサリーの SDS13mm ハンマーチャックまたは SDS 回転チャックセットを使用すると、市販のストレートシャンクの先端工具が使用できます。

別売アクセサリーをハンマードリル本体へ取り付けるときは、SDS プラスシャンクの先端工具の取り付けと同様に行います。（18 ページ参照）

別売アクセサリーの使用方法は、それぞれに付属する説明書をお読みください。

● マイクロフィルターユニット⑩を取り付ける・取り外す

マイクロフィルターユニット⑩を取り付けて使用すると、粉じんが飛散することなく、衛生的に作業が行えます。

マイクロフィルターユニット⑩装着時のコンクリート穴あけ能力（最大径）は16mm、有効長は100mmになります。



警告

- ◆ マイクロフィルターユニット⑩はコンクリートや石材、レンガ、タイル、モルタルの穴あけをするときに使用し、木材やプラスチックなどの穴あけには使用しないでください。
- ◆ マイクロフィルターユニット⑩を装着して、金属への穴あけはしないでください。高熱を持った金属の破片によって発火する危険があります。

使
い
方

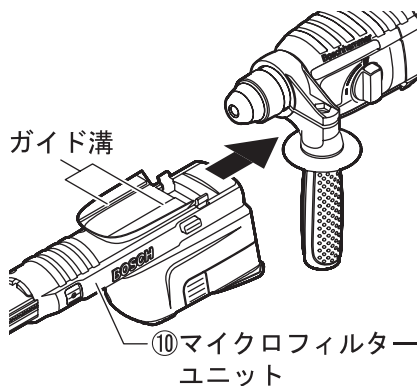
- ☞ 定期的に交換用フィルターの状態を確認してください。傷ついた交換用フィルターは直ちに交換してください。
- ☞ シーリングキャップ⑩は消耗品です。特に、大口径のドリルビットで作業した場合、早く消耗します。消耗したシーリングキャップ⑩は交換してください。

取り付け

マイクロフィルターユニット⑩を本体のチャック側から挿入します。

本体の凸部をマイクロフィルターユニット⑩のガイド溝に合わせ、カチッと音がするまで押し込みます。

マイクロフィルターユニット⑩は水平に装着してください。



- ☞ サイドハンドル⑨の位置によって、マイクロフィルターユニット⑩が装着できないときは、サイドハンドル⑨を回して位置を変えてください。

取り外し

「マイクロフィルターユニット取り外しボタン⑫」を押しながら、マイクロフィルターユニット⑩を手前に引き抜きます。

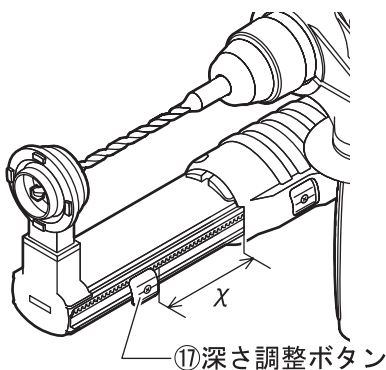
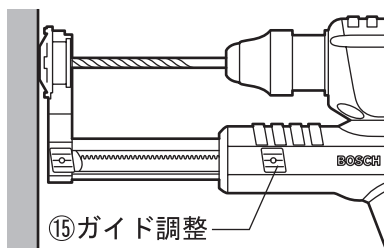


警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、「正転・逆転切り替えスイッチ⑧」が安全ロックの位置（中央）になっていることを確認してください。
- ◆ ハンマドリル使用時に排出される粉じんは、健康に害をもたらすおそれがあります。防じんマスクを着用して作業してください。

1 深さゲージを調整する

1. 吸じんアダプターを材料の表面に当てます。
2. ドリルビットが材料の表面に当たるまで、「ガイド調整ボタン⑮」を押しながら本体を押し込みます。
3. 「ガイド調整ボタン⑮」から指を離します。
4. 「深さ調整ボタン⑰」を押しながら、あけたい穴の深さまで「深さ調整ボタン⑰」を本体側へ移動させます。



使
い
方

2 「作業切り替えレバー④」を作業に合わせた位置にしっかりと切り替える（下図参照）

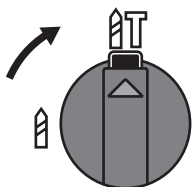
- ☞ 「作業切り替えレバー④」は、「作業切り替えレバーロック解除ボタン⑤」を押しながら位置を切り替えてください。
- ☞ “カチッ”と音がして、「作業切り替えレバー④」が正しくセットされたことを確認してください。

注意 ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「作業切り替えレバー④」を切り替えてください。「電子無段変速スイッチ⑥」を引き込んでいるとき、「作業切り替えレバー④」は切り替えしないでください。

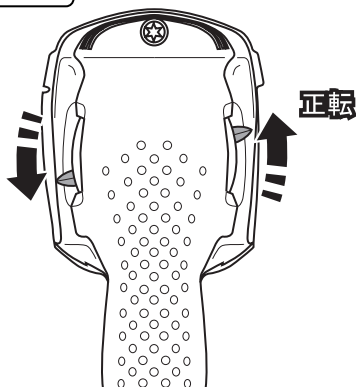
3 「正転・逆転切り替えスイッチ⑧」を切り替える

注意 ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「正転・逆転切り替えスイッチ⑧」を切り替えてください。「電子無段変速スイッチ⑥」を引き込んでいるとき、「正転・逆転切り替えスイッチ⑧」は切り替えしないでください。

コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ



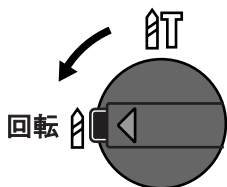
作業切り替えレバー



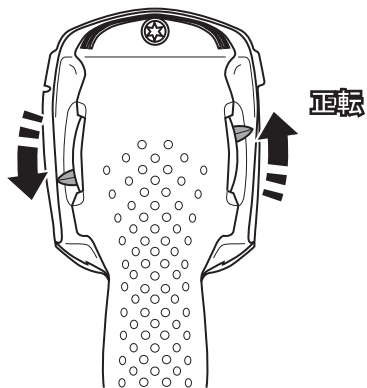
正転・逆転切り替えスイッチ

木材、金属、プラスチックなどの穴あけ

ネジの締め

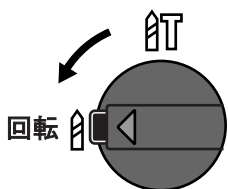


作業切り替えレバー

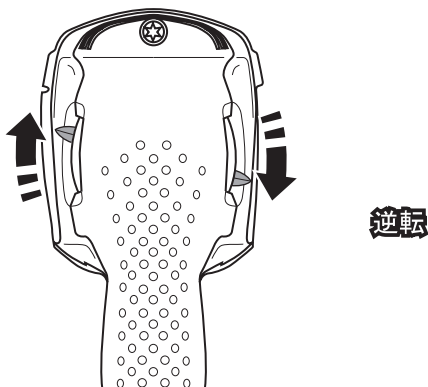


正転・逆転切り替えスイッチ

ネジの緩め



作業切り替えレバー



正転・逆転切り替えスイッチ

使
い
方

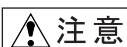
4 電源プラグを電源コンセントに差し込む

5 「電子無段変速スイッチ⑥」を操作する




警告

- ◆ 作業中に振り回されないよう、ハンマードリル本体にサイドハンドル⑨を取り付けてください。両手で本体のグリップとサイドハンドル⑨をしっかり保持し、作業してください。
- ◆ 作業中は常に、ハンマードリル本体の後方に電源コードがくるようにしてください。
電源コードが回転部に巻き込まれると事故の原因になります。



注意

- ◆ 作業時、ハンマードリル本体は軽く押すだけで十分です。必要以上に強く押しつけると、先端工具を傷めて作業効率が悪かったり、本体が故障したりします。
- ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。やけどを負うおそれがありますので、触れないでください。
- ◆ 長いネジを締めるときは、ドライバービットがネジから外れないように注意してください。
- ◆ 先端工具が材料に引っ掛かったり、斜めに進んだりすると、過負荷クラッチの働きにより回転が止まります。ハンマードリル本体の損傷を防ぐため、先端工具を引き抜く前に本体を先端工具から取り外してください。

 ハンマードリル本体が熱くなったときは、「電子無段変速スイッチ⑥」をいっぱいまで引き込み、3分間ほど空転（無負荷運転）させて、モーターを冷やしてください。

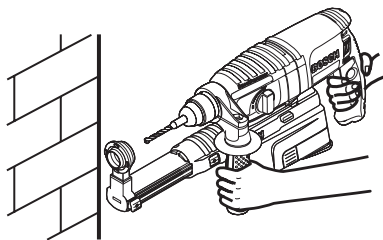
スイッチの ON/OFF

スイッチ ON : 「電子無段変速スイッチ⑥」を引き込みます。

スイッチ OFF : 「電子無段変速スイッチ⑥」から指を離します。

穴あけ

1. 先端工具を材料に当てます。
2. 「電子無段変速スイッチ⑥」をゆっくり引き込み、穴あけする中心位置を決めます。



3. 穴あけする中心がずれなくなったら、「電子無段変速スイッチ⑥」をいっぱい引き込みます。

穴あけ完了後は、ドリルビットを回転させたまま穴から引き抜き、「電子無段変速スイッチ⑥」から指を離してください。

☞ 「電子無段変速スイッチ⑥」の引き込む加減で、回転数・打撃数が調節できます。

☞ 止めるときは、「電子無段変速スイッチ⑥」から指を離してください。ブレーキの働きにより、あけ過ぎを防ぎます。このとき、通風口内から火花が発生する場合がありますが、異常ではありません。

ネジ締め・緩め

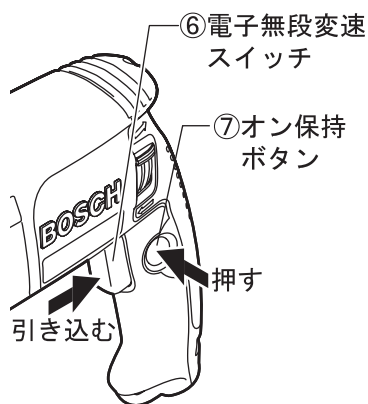
1. 先端工具をネジ頭の溝に合わせます。
2. 「電子無段変速スイッチ⑥」を引き込みます。

☞ 「電子無段変速スイッチ⑥」の引き込む加減で、回転数が調節できます。

☞ ネジを緩めるときは、「正転・逆転切り替えスイッチ⑧」を逆転に切り替えてください。

連続作業する

- 連続作業するときには、「電子無段変速スイッチ⑥」をいっぱいまで引き込み、「オン保持ボタン⑦」を押します。
「電子無段変速スイッチ⑥」から指を離しても、スイッチ ON の状態が維持されます。
- 再度、「電子無段変速スイッチ⑥」を引き込むと「オン保持ボタン⑦」は解除されます。



☞ ハンマードリル本体が熱くなったときは、「電子無段変速スイッチ⑥」をいっぱいまで引き込み、3分間ほど空転（無負荷運転）させてモーターを冷やしてください。

粉じんを取り除く

吸じん力が低下したり、ダストボックス⑬がいっぱいになったときは、ダストボックス⑬を清掃してください。

ダストボックス内の状態は、透明カバーから確認することができます。

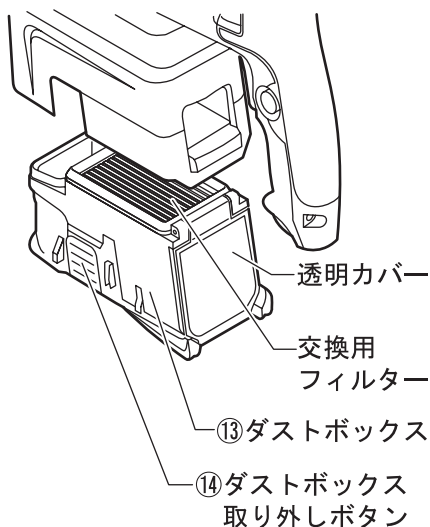


警告

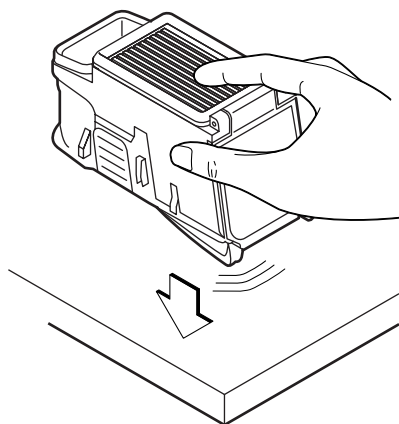
◆ 下記の状態になったとき、発火するおそれがあります。作業の終了ごとに、マイクロフィルターユニット⑩（交換用フィルター）から、粉じんを取り除くようにしてください。

- 金属加工中に発生した火花を吸じんした。
- ニスの粉じんと、ポリウレタンの粉じんやその他化学物質の粉じんが混ざってしまった。

1. 「ダストボックス取り外しボタン⑭」を左右同時に押しながら、ダストボックス⑬を取り外します。




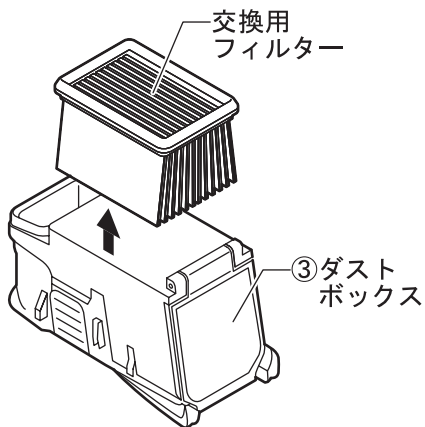
2. 取り外したダストボックス⑬を、図のようにかたい表面の所に数回軽く当ててください。粉じんがダストボックス⑬の底部に集まり、後処理がしやすくなります。



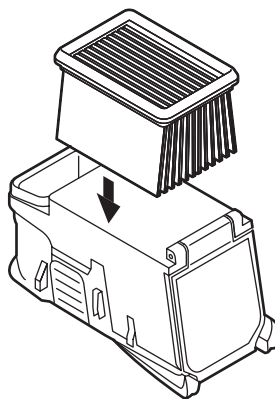
3. 交換用フィルターを外し、ダストボックス⑬の底部にたまった粉じんを処理します。

4. 交換用フィルターをやわらかいブラシなどで清掃します。

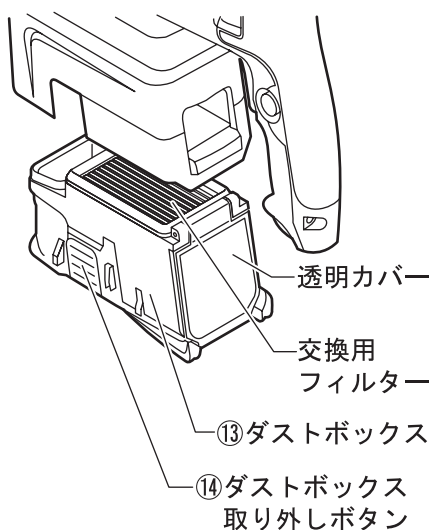
 フィルターの部分は水洗いできません。



5. 交換用フィルターをダストボックス⑬に取り付けます。



6. ダストボックス⑬をマイクロフィルターユニットに取り付けます。

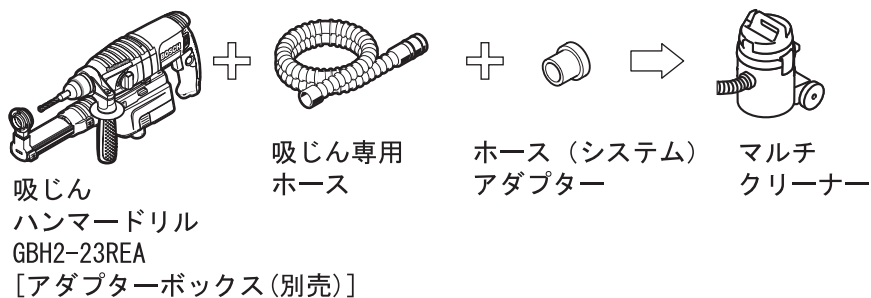
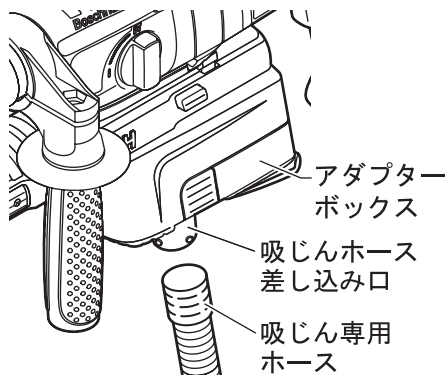


吸じんシステム（別売）と接続する

吸じん専用ホース、ホース（システム）アダプターを介して、ボッシュマルチクリーナーと接続することで、吸じんしながら作業ができます。

（吸じん専用ホース、ホース（システム）アダプター、マルチクリーナーは別売）

1. ダストボックス⑬を取り外し、アダプターボックス（別売）を取り付けます。
2. 吸じんホース差し込み口に吸じんホースを接続します。
3. 吸じんホースとボッシュマルチクリーナーを接続します。

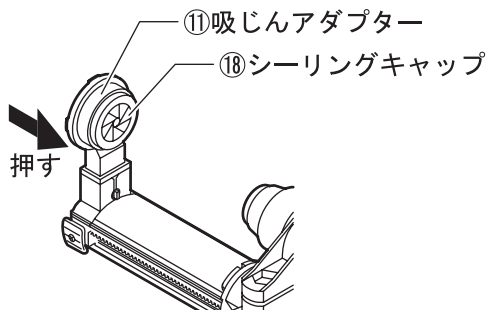


- ☞ ホース（システム）アダプターはマルチクリーナーにより異なります。詳しくはボッシュカタログまたはマルチクリーナー本体の取扱説明書を参照してください。

付属品を交換する

シーリングキャップを交換する

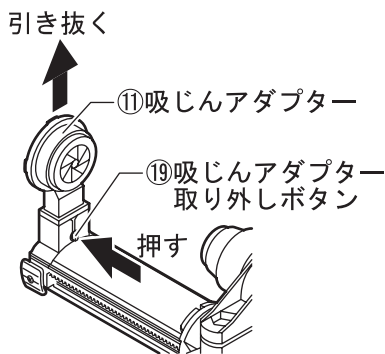
シーリングキャップは、先端側から図の向きに押すと外れます。
取り付けるときは、吸じんアダプター⑪にシーリングキャップ⑱を強く押し込みます。



使
い
方

吸じんアダプターを交換する

吸じんアダプター⑪を取り外すときは、「吸じんアダプター取り外しボタン⑲」を押しながら、吸じんアダプター⑪を上に向かって引き抜きます。



吸じんアダプター⑪を取り付けるときは、吸じんアダプター取り付け部に吸じんアダプター⑪を挿入し、押し込みます。

困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
「電子無段変速スイッチ⑥」を引き込んでも、回らない	電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない 電源コードが断線している	電源プラグを電源コンセントに差し込む 修理を依頼する
「電子無段変速スイッチ⑥」が引き込めない	「正転・逆転切り替えスイッチ⑧」が“安全ロック”または、中途半端な位置になっている	“正転”か“逆転”の位置にしっかりと切り替える
穴あけなどに時間がかかる（穴があかない）	先端工具が摩擦している 使用電圧が低い 「正転・逆転切り替えスイッチ⑧」が“逆転”の位置になっている	先端工具を研磨するか、交換する 100Vの電源を使う 「正転・逆転切り替えスイッチ⑧」を“正転”の位置に切り替える
回ったまま、止まらない	「電子無段変速スイッチ⑥」が「オン保持ボタン⑦」で保持されている	「電子無段変速スイッチ⑥」を再度引き込み、オン保持状態を解除する
先端工具が挿入できない	ツールホルダー内に異物がつまっている	修理を依頼する

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。
コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

株式会社バンテックゼットロジ内

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡親宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

作業前点検・お手入れ・保管

吸じんハンマードリルを末永く、また安全にお使いいただくために作業前点検と作業後のお手入れをしていただき、保管していただくことをお勧めいたします。



警告

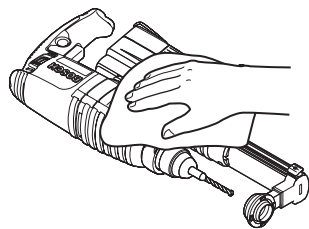
◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、お手入れしてください。

作業前点検

- 先端工具が確実に装着されているか？
- 「電子無段変速スイッチ」「正転・逆転切り替えスイッチ⑧」は正常に作動するか？
- サイドハンドル、マイクロフィルターユニットは、確実に取り付けられていて、がたつきはないか？
- 電源プラグ、コードが破損していないか、また何らかの損傷を受けていないか？

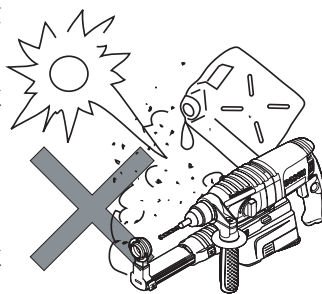
使用後のお手入れ

- 通風口やスリーブなどに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- 乾いた布、柔らかい布で本体の汚れをふき取る
変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。
- ツールホルダーの先端工具挿入部分を清掃する



● ハンマードリルを使った後は、きちんと保管する

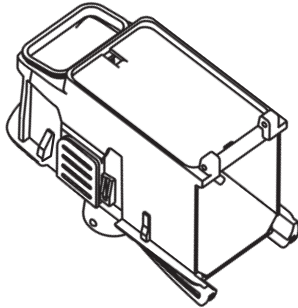
- 子供の手が届くところ、または鍵が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。



別売アクセサリ

● クリーナーとの接続に

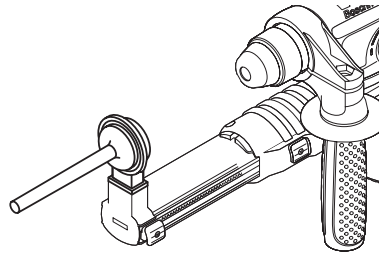
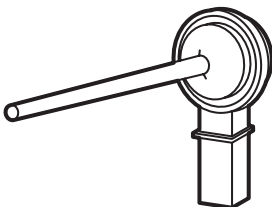
アダプターボックス



● 粉じんの除去に

穴あけ後、穴（下穴径 10 mm～）の中に残った粉じんを取り除くときに使用します。マイクロフィルターユニットの吸じんアダプター取り付け部に挿入して使用します。

吸じんチューブ



☞ 吸じんチューブを取り付けるときは、29 ページ「吸じんアダプターを交換する」を参照してください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



BOSCH

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ：<http://www.bosch.co.jp>

〒150-8360 東京都渋谷区渋谷3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00)

*携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤル
のご利用はできませんのでご了承ください。